

わたしたちの同窓生

<94周年>

会員数 25,889名
在校生数 1,211名
平成5年3月24日 現在



同窓会報

椎の樹

1993.3.24 第7号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
高崎市稲荷町20 電話(0273)62-2585
発行責任者 斎藤 民
印刷所 ほその印刷



ご挨拶
同窓会長 斎藤 民

同窓生の皆様、お早いもので平成も五年になりました。この新しい年を迎えられまして益々心新たに御健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

同窓会もこのところ特別のイベントも無く平穩に年間の行事を遂行させていただいております。同窓会の行事は同窓生の親睦を第一に縦の交流を重視し、それを中心に行われておりますが年度の当番幹事に当られた期の方々は、厚い年齢層の上下に心を配られて全力をあげてご苦労して下さいまして、新しい感覚で若々しいエネルギーを集めて年間

平成六年度よりの新しい学習指導要領の実施に向けて、いま、学校はその準備の段階に入っている。今回の改訂の狙いは、社会の変化に対応するとともに生涯学習の基礎を培うという観点に立って、心豊かな人間の育成を図ることにあり、学校として基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性豊かな教育の充実に努める必要がある訳である。

いよいよ昨年九月から実施に入った学校週五日制、家庭科男女必修を含む新教育課程の編成、受験競争の過熱化による学校・家庭の教育の変質、あるいは都市化の進行や核家族、少子化等に伴う地域、家庭の変容、大学入試の改善、学校不応の問題、内規や校則の見直し、児童の権利条約等、いま学校は重要な課題が山積しており、高校は多様化・個性化の方向で教育改革の真只中にある。

本校は、今年度から高校入

いま、学校では



学校長 岡村 昇治

に明白な目的意識を備えた意欲的姿勢を持ち、進路実現に向けて継続的に根気よく学習する意志の強い生徒、一芸に秀でるなど、個性のある生徒を受け入れることにより、学校の活性化を図りたいと念願

試改善の一環として、一般入試の他に推薦入試を初めて導入した。本県では、二校を除く全部の普通高校で実施されたことは皆様がご存知のことと思う。この制度は高校生活

長い歴史と伝統を守りつゝ、古い因襲にとらわれない様、時代に即した同窓会に発展させてゆきたいものと思っております。
会報「椎の樹」の内容も出来るだけ同窓生の皆様のご希望に添えるものをと「吉野委員長」を中心に編集委員の皆様

生徒の情操陶冶に大きな力を思ひ下さる事と同窓会といたしまして有難く嬉しく存じております次第です。
悲しい残念なお知らせですが同窓会の要職におられた「前会長青木ノノ様」「前校内理事代表金井光代様」「前副会長現顧問金井登志様」がご逝去になりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

様ご熱心に研究され編集しておられます。何卒皆様会報へのご要望、ご意見、消息等を積極的に寄せ下さいませます様お願い申し上げます。
この度、女学校二十四回卒業で顧問でいらつしやる「児玉桃代」様が母校高女の為に



同窓会総会 平成4年5月1日 於・椎樹館

平成四年五月一日、母校開校記念日に同窓会総会が開かれました。椎樹館大広間の昼食会の後、今回は例年と違い二階に会場を移して行われました。吉村副会長の開会のことばで始まり、斎藤会長の挨拶に続いて、岡村校長、PTA副会長の御祝辞をいただき議事に入りました。事務局から事業経過報告、会計決算報告、又、今年度の事業計画、会計予算が岡田、渡辺



写真
新野さん(女12回) 右側
保坂さん(女25回) 左側
筆本各先生よりあり、吉野会報編集委員長、海老原旅行企画委員長からはそれぞれの計画について説明がなされました。議事終了後、一〇〇歳に近い大先輩の新野カツさんにマイクが向けられ、当時の通学の様子などをお年を全く感じさせない若々しいお声で話していただき、最後に全員で校歌を合唱し、吉野副会長の閉会のことばで総会を無事終了いたしました。(高16回・担当)

入会のことば 同窓会入会式 平成5年3月1日

風の柔らかな肌ざわりから早春のささやきを感じられる季節となりました。新入会員の私達は伝統あるこの高女同窓会で先輩方と歴史を積み上げていくことができることに喜びを感じております。今の高女、そして私達を支えてい



る伝統への自覚と誇りは、生涯絶えず私達の怠慢を戒め、悔いることの少ない人生を支援・激励してくれるのではないかと思います。私達は将来に向かってこの誇り高い伝統を胸に、堂々と邁進していくことをお誓いいたします。とは言えどもまだまだ未熟な私達は、在校中以上に先輩の皆様にお世話をおかけすることと存じますが、宜しく御指導の程をお願い申し上げます。
高校第45回卒業生同窓会 期別幹事

誰かが一生懸命歌っている。最後に全員で合唱した校歌も、いつしか三部合唱になる見事さであった。
久しぶりに会った人達は、充実した人生が偲ばれてみんな輝いていた。母校の良妻賢母教育は着実に実を結んでいる。でも、良妻にも賢母にも失格の私としては、同窓会に出て来ない人とも話してみたいな、という思いが残った。
同窓といふ 親しさの春の宴

三月下旬の陽気となった二月七日、ターミナルホテル丹頂の間に一歩踏み入ると、そこは眩しいばかりの色彩の渦と熱き芳香漂う世界だった。斎藤同窓会長の挨拶、岡村校長の学校の近況報告があつて、乾杯、祝宴に移る。待ち兼ねたように各テーブルごとに賑やかな談笑が始まった。
アトラクションのメインは熊倉先生の日舞。美しい銀髪の人と、漆黒の髪を束ねていらしたかつての先生のイメージが一瞬結びつかない。続いて同窓会合唱団による合唱。年齢を超越した清らかなで美しいハーモニーに陶酔する。宴たけなわとなったところで、自分の席を離れて旧交を温め合う姿があちこちと目に付く。そこへ「高16回全員集合」の号令。同期の山岸さんの指揮により、「希望」「いい日旅立ち」を合唱。いつしか

平成5年 新年
三木 妙子 (高16回)

旧交を温め合う



講演を聞いて

桜井典代(高16回)



以前、高女で、生物学教師として、多くの女生徒達を魅了し、現在は、新潟大学工学部で教えておられる鈴木哲先生をお迎えして「年輪と雪の話」というテーマで、講演が聞かれました。スライドなどを使いながら、高女時代の話も交えユーモアたっぷりの話し振りに、ちょっと難かしい内容も解ったような感じがしました。例えば、水銀やカド

ミウムなどの重金属類が、年輪の中にどれ位、含まれているか計測したり、火山の爆発を年輪幅によって、いつ起きたか推定したりなさいました。科学者にとって、推定と結果が一致した時の喜びは、例えようもない感じが、お話し振りが、ひしひしと伝わって来ました。高校教師の仕事の傍ら、ここまでやれるなんてすごいなあと思いました。安中市のカドミウム公害―足尾銅山鉱毒による渡良瀬川の銅・カドミウム公害―新潟水俣病の原因である阿賀野川水銀汚染等々―年輪を調べれば、公害の時期や程度がわかることを色々なデータに基づいて証明して下さいました。公害が自然に与える影響の大きさに、恐ろしくなると同時に、地味な研究の積み重ねが、説得力を持つのだなと感心させられました。次は、現在お住いの新潟に関連して「雪の話」をして下さいました。昔、雪国では冬、生野菜が取れないので、一家で冬に



鈴木哲先生

講師紹介

角田智恵子(女39回)

食べる生野菜を雪むるに入れて利用したが、冷蔵庫の普及でなくなった。しかし、雪むるの中は一年中、昼夜を問わず摂氏1〜2度で湿度100%近く無風で生野菜の保存には理想的なため、巨大雪むるを作り、イチゴ苗を夏まで入れておき、クリスマス用の高価なイチゴを作ったり、酒を保存したりしているそうです。又、中国やロシアでも、凍土を利用した地下貯蔵庫で、生野菜などを保存しているが、五月末になると、凍土がとけ、野菜がくさってしまう。氷を

保存して一年中利用できないかと考えたのが冷熱エレメント法だそうです。これは、一・五〜二mの水塊を作り、これで囲まれた空間を作り、その上に、モミガラマットとアルミシートで、おおうと断熱性のいい低温貯蔵空間の出来上りという工夫。これが実用化されれば、自然を破壊せず安上りで昔の人と現代の人の知恵を織り込んだすばらしい物が出ることでしょう。楽しく夢のあるお話で、あつという間に時間が過ぎていきました。



第41回京浜地区同窓会

久保美智子(高17回)

七月十二日に、高女京浜地区同窓会が銀座のレストラン「高松」本店で開かれました。例年同様、高女地区からも多勢の方に御出席していただき、約四百四十名の皆様と楽しいひとときをすごしました。

次々とお話が弾み、いつしか気分は女学生に戻っていました。ひとときお喋りした後、華やかなドレスにつつまれた横井小夜子さん(高17)のピアノ演奏を楽しみました。「さらさら星奏曲」「セレナーデ」「アベマリア」「別れの曲」を皆うっとりして聞き入りました。最後に全員で「故郷」を歌って十代の頃を懐かしみ、まだまだ去り難いという思いのうちに閉会となりました。

訃報

故青木ソノ様

女25回卒 元同窓会長

平成四年二月二十三日病氣の為死去されました。昭和四十八年から昭和五十二年迄同窓会長をつとめられました。その間思いがけない山の家の事故に遭遇し、その大きな出来事をのりきる為、母校への協力と援助に会員と共に心をくだされました。

故金井光代様

女四十三回卒

元同窓会校内理事 平成四年四月十一日病氣の為死去されました。昭和五十七年四月より昭和六十三年三月迄校内理事として同窓会の運営に力をつくされました。

故金井とし様

女三十二回卒

元副会長 現顧問 平成四年十月二十四日病氣の為死去されました。昭和四十八年より昭和五十二年迄副会長、昭和五十三年より顧問をつとめられました。同窓会の歩みをつめられ、後輩のよき指導的立場を長い間つとめてこられました。

文中敬称略、()は旧姓

心よりご冥福をお祈りいたします。

松樹館だより

教頭 戸塚雅宏先生

終戦と新生「高女」

戦中から終戦への未曾有の混乱に、高女生は否応無しに巻き込まれた。「逼迫する食糧事情」「戦時中、農繁期に近郷での勤労奉仕で、毎日が田植え、稲刈り、麦刈り、桑の皮引きなどで、汗と泥にまみれて働いた。米粒の少ない我が家の食事の飢餓感を白にお握りと味噌入り焼餅が満ちた」(小和瀬(山本)節子、高2回)

食糧事情は悪化していたが、それでも統制は保たれ、配給も行われていた。それが終戦により一挙に崩壊し、一層急

が制度の大改であった。マツカーサー司令部により、昭和二二年度を以て国民学校を小・中学校に改め、昭和二三年度から新制高校が発足することとなる。本校も、無条件で高校昇格が認められ、昭和二一年四月に入學した生徒を最後に生徒募集を停止し、二二年には移行措置として修業年限を五年とした。二、三年の者は高校付設中学校二、三年と変り、二三年三月には七〇名が五年を卒業(四七回)、二四年三月に一二三名が旧制五年を卒業(四八回)



と同時に、新制高校第一回卒業生三七名が巣立った。「四が心に強い絆を感じた」(下田(中澤)澄子、高1回)、物質的には貧しくとも新しい時代の到来を不承不覚に向かっ、少ないながらも授業は粛々と進められ、それは今に至るまで、脈々と引き継がれている。これが取りも直さず高女の伝統と云うものであろう。この時代、わけても終戦の八月十五日以降、日々不要物の焼却作業に没頭した、とあるだけに、残されている資料は乏しく、真に惜しい限りである。

文中敬称略、()は旧姓 心よりご冥福をお祈りいたします。

◆ 文芸欄 ◆

【俳句】

コスモスの揺蕩ふ様を飽きもせず
コスモスの種の零れんばかりなる 碓井良子(女46回)

火の国を作りし神の阿蘇みどり
湯西川もみじに染まり湯瀧落つ 吉村節子(女46回)

木洩れ日に色まだ淡し草紅葉
鱗雲地球まろしと見ゆる日よ 小川美美代(女47回)

【短歌】 さくら散る
高橋キク子(女44回)

この年の幸と言はむか散りそむる
城趾公園のさくらに逢へり
風立ちて俄か散りくる花びらの
散華とも見ゆ吹雪とも見ゆ

同窓会だより



平家落人の里を訪ねて

下村千加子 (高17回)

秋の湯西川温泉
平家落人の里を訪ねて
期・平成四年十月十八日
同十九日(一泊二日)
参加者・四十六名

心配された天気も思ったより冷気を感じるが、秋晴れの旅行日和。真っ青な空を見上げ旅への夢が広がる。初めて出合った人達が大団圓だが、同じ学び舎の出身者同志という和やかさが車中に漂う。第一の見学地足利学校。次に益子参孝館、ここでは単に陶芸のみの陳列かと覗いてみると、意外にも、日頃美の対象として扱われる事のない日常の生活用品に施こされている無名の工人達の芸術品の数とその美しさ。思いもかけぬ感動を胸に目的地湯西川温泉へと向かう。秋の日は釣瓶落とし、特に深山の日暮れは早い。バスは真っ暗らなカーブを登り続ける。時折折り返る人家の明りはその暗さを和らげ、たまにすれ違う対向車に難儀している様子。道幅の狭さを感じる。外は闇。宿の明りが見えた瞬間、目の覚める思い。こんな所まで落ちのびた古え人の追いつめられた気持ちがいかがであったかを偲ぶ。そ



洋らんセンターを見て、堂ヶ島温泉泊まり、十七日は、堂ヶ島港から高速船こぼるとある一号で沼津港へ出て三島駅からバスで浄蓮の滝や三島神社等を見学し帰途に着いた組とに分かれて帰りました。洋らんセンターでは白いファッションの花に囲まれて少女のように幸せな一時を過ごしました。また宿で、音楽の教科書のコピーを手で夜の更けるまで合唱をしたのも楽しいものでした。

天候にも恵まれ、ささやかな旅行ではありましたが「ま



期別活動

高九回同窓会開催

平成四年六月六日は、五年毎の高九回同窓会開催の日。懐かしい先生方をお迎えしての集いでした。私達も年を重ねたら、先生方のようにありたいと強く思いました。

「茜会」発足する
萩原 玉江(高17回)
この度、高十七回の親睦会として、大勢の出席のもと、会が承認されました。この為第四十一回高女京浜地区同窓会が、一層記念すべき一日となりました。

白秋没後五十年

北九州を訪ねて 上原 展江(女47回)

私達さつき会は総勢三十四名で、五月十二日から三日間、柳川より熊本、阿蘇、湯布院、別布、富貴寺、熊野磨崖仏等をまわりました。



色にして
老木の柳うちしだる
我が柳川の
水の豊けさ
こう歌って、北原白秋はご自分の詩心を開花させた生誕の地を表現しました。



岳温泉
智恵子を訪ね
ニコニコ共和国へ
日時 5年10月17・18日 ●参加費 35,000円
10/17(日) 高崎=高柴デコ屋敷=安達太良エク(三春駒見学)(奥岳ゴンドラ) スプレス=岳温泉(泊)(ニコニコ共和国)
10/18(月) 岳温泉=霞ヶ城公園=智恵子生家見(菊人形見学) 学=高崎
◎申込方法 9月1日(水)10時~15時 (母校椎樹館事務室)
☎(0273) 62-2585
多数のご参加をお待ちいたしております。

開校記念日

(平成四年五月一日)



高田美恵子(高26回)
先日の開校記念日に、鈴木哲先生の特別講演会が、行なわれましたが、私達は、先生の最後の担任のクラスとして、十数名が集まり、先生との再会をする事が出来ました。自分たちが、卒業してから、ちょうど十八年で、高校三年の十八年と二倍の年齢に達しましたが、先生にお会いすると、心はまるで高校生にもどったようで、楽しいひとときを過ぎました。先生は、十八年のブランドンを感じさせないほど私達に身近に接して下さい、大学教授という事をすっかりわすれて、「哲ちゃん」として、高女にもどって来て正公が設計しただけのことはあって、すでに四百年も前に、すっかりした都市計画に基づいて街づくりをしたことに驚きました。ここまで稿を進めた時、あ、お庭でこぼろが鳴き出しました。
かたわらに
秋草の花語るらく
滅びしものは
なつかしきかな
昭和49年卒の皆様へ……
特に、中曽根のセツちゃん、マンガ家の綿貫さんへ

けしの会

やっとかなった修学旅行 伊豆方面旅行 渋井千代子(女44回)

『けしの会』では、めずらしくも、平成四年四月十五日から二泊三日で伊豆下田方面へ修学旅行をしました。私達は戦時下、過酷な動員学徒として修学旅行はもとより、かんじんの勉強の方もろくにせず果立ったせいか、かなりしらけた集団です。すで旅行したのは初めてです。

十五日は下田城、了仙寺、下田港巡りをして、下田温泉泊まり、十六日は石廊崎ジャンクパーク、マーガレットライン、長八記念館、堂ヶ島

同窓会 総会開催の お知らせ

春の息吹きを強く感ずるこの頃ですが、同窓の皆様にはお元気で過ごしのことと存じます。

さて、恒例の総会を下記により開催致します。

お誘い合わせて、多数ご参加くださいますようお願い致します。

日時 平成5年5月1日(土) 12時より

場所 母校 椎樹館
日程 12:00~13:00 昼食
13:00~13:40 総会
14:00~15:30 講演

講師 吉永 哲郎先生 (元高女教諭)

演題 「源氏物語とわたし」

会費 1,000円
※期別幹事は必ずご出席ください。

※同窓会維持費中間報告 (H. 5. 3. 16 現在)

収入の部
維持費納入金 3,814,000円 (平成4年度分)

支出の部
会報椎の樹第7号印刷代、他 (予定) 1,100,000円
残 額 (予定) 2,714,000円

・同封の振込用紙に必ず卒業
回期の記入をお忘れなく
年間1口 1,000円
納金をお願い致します。



平成5年度行事予定

5/1(土)	総会及び講演 母校椎樹館
5/29(土) 30(日)	第12回椎樹祭 写真展参加
10/17(日) ~18(月)	親睦研修旅行 岳温泉方面
2/13(日)	新年会 —— 高崎 ターミナルホテル
3/1(火)	新会員入会式 母校椎樹館
3/下旬	会報8号発行

- ※会議 (1) 常任幹事会
(2) 期別幹事役員会
(3) 椎樹祭準備委員会
(4) 旅行企画委員会
(5) 会報編集委員会
(6) 合唱団運営委員会
(7) 当番期会議(高17)
(8) その他必要による

※ 総会、旅行、新年会、合唱等諸行事へご参加ください。
= 旅行の申し込み =
9月1日(水)10時~15時、
母校椎樹館事務室



● 母校の近況
(平成5年4月1日現在)
。教職員の変更
退職……岡村昇治(校長)
中島松男、林正幸
湯浅純子、増田知巳
転任……堤清夫(前高)、小
林正好(前市女)、仲谷真
理(前南)、田島正徳(前東)
着任……菊地俊(一校長・前東)
渡辺捷紀(前高)、武井敏
男(前商)、中曾根裕和(太
市商)、徳田貴子(藤女)、
松本秀樹(万場)、飯塚宏
樹(桐西)、高柳純子(玉
村) 以上の諸先生
平成5年度 新入生三九六名
。同窓会新入会員四〇五名
(平成5年3月1日入会)



。新卒業生の進路状況
国立4年制(二三)、公立4年
制(三三)、計(二四)、国公立
短大(二三)、私立4年制(二五)
私立短大(二三)、各種専修
(二七)、就職(三〇) 以上のべ数。

← 高45回(平成4年度)卒業生
より寄贈されました雑段

—— 第七号編集委員 ——
海老原洋子・松本康江(高14)
原勝代・島方睦美(高15) 川口
貞子・神戸多香子・大山昭子・
神宮順子・久保田淳子(高16)
善如寺尚子・下村千加子(高17)
設楽多恵子・設楽典子(高18)
武井治子・前田房子(高19)



高女同窓会合唱団の発会にあたって

彩踊るOG絵画展

第四回展幹事 新 公子 (高18回)
第四回椎樹祭は平成四年五月一日から五日まで、高崎駅ビルギャラリーで開催されました。出品者は十八名、年齢層は二十代から八十代と幅広く、小品から四十号まで内容も充実し

た展覧会だったと御好評いただきました。当会は異なった世代が触れ合う貴重な場ですが、又、美を求め、何らかの形で生活にそれを具現している限り心は若く、年齢と共に安定した輝き加わる様子を予定しております。新入会員をお待ちしております。

バスケット部OG会

石井富美代 (高39回)
現役時代には、勝負を流し、勝利にガッツポーズを見せたり、惜敗に悔し涙を流したりしたメンバーが再びコートに集まり、華麗なシュートを決めている。昔のように、足を

使って全力プレーというわけにはいきませんが、その分、技を加えながら、楽しむバスケットをしています。今年度は、群馬リーグ予選会などの三つの大会に参加しました。中には、一点を争う白熱したゲームもありました。

バスケット部OGの中には、群大や教員チームで主力となり、県内バスケット界の中心人物となって活躍しているメンバーも大勢います。ですから、同じ高女のOGであつても、敵となり顔を合わせることもしばしばです。

また、バスケット以外の活躍も様々な方面へ広がっているようです。シャンソン歌手として有名な栗原道子さんも我々バスケット部の先輩であります。このように先輩方や仲間の活躍ぶりを聞けることは、大変嬉しく、また、刺激となります。

これからも、先輩後輩の親睦を深め、積極的に活動していきたいと思ひます。

高女同窓会合唱団の発会にあたって
平成十一年五月一日には、高崎女子高等学校が創立して「百周年」という記念すべき日を迎えます。一言で「百周年」といっても、そのたどってきた歴史の意味は多様で、多彩なものがあり、これからさまざまな行事が企画されることと思ひます。それらに先

同好会コーナー

の方々が出席してくださり、同窓会長齋藤氏先生、顧問橋本節子先生その他多くの各委員のご参加をいただき、盛大な発会式を催しました。式もどきどき終りましたあと、早速合唱が始まりました。元高女音楽部に所属していた方々、合唱は初めてという方々も緊張したおももちで、「花」「旅愁」「もみじ」と歌うにつれて声ものびやかになり、楽しいひとときを過ごすことができました。そして、最後には齋藤先生の指揮により「校歌」

どんぐり会



村田喜代子(女45回)
発足した当時はゴルフをなさる方の集まりでした。名前の無いのも淋しいので椎の木と腕前をもじってつけました。現在七十名の大世帯になるとは夢々思ひも致しませんでした。

云う事ですぐ仲良くなり、常時三十数名の参加で年四回のコンペを行ない太陽を一杯浴び賑やかな一日を過ごしております。初心者上級者の方が混ざって居りますので大甘な規約でプレーしております。又、高崎男女高校卒業親睦会コンペにも参加しております。入会ご希望の方はお待ちしております。

お知らせ
モニュメント△愛をそして真情(まごころ)▽の除幕式が11月27日高女中庭に於いて行われました。これは、女24回卒、同窓会顧問見玉桃代さんの寄贈によるものです。製作者は群大教授黒田能勝氏です。生命とは何か、愛とは何かと、様々な事を語りかけてくれる素晴らしい作品です。是非母校を訪れご観賞下さい。

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

で発会式をしめくくっていたきました。
この合唱団は、毎月二回第二・第四金曜日の7時から8時半まで椎樹館二階で練習を行います。どなたでも参加出来ます。会費は、月千円です。懐かしい歌、現代的な歌をいろいろ取り混ぜて、楽しく合唱する喜びを味わいながらさらに「百周年」という大きな目標を目指してゆくりと前進していきたいと思っております。是非多数のご参加をお待ちしております。

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011

高19回卒業の皆様へ
お待たせしました。第二期同期会を計画しました。ぜひ多数ご参加下さい。詳しくは個別通知にて。平成五年六月十九日午後六時より高崎ビューホテル・会費六千円
連絡先・網島千栄子
☎(027)211-3011